

笑顔とがんばりの町

広報

おのまち



2015

Public
Relations
ONOMACHI
No.626

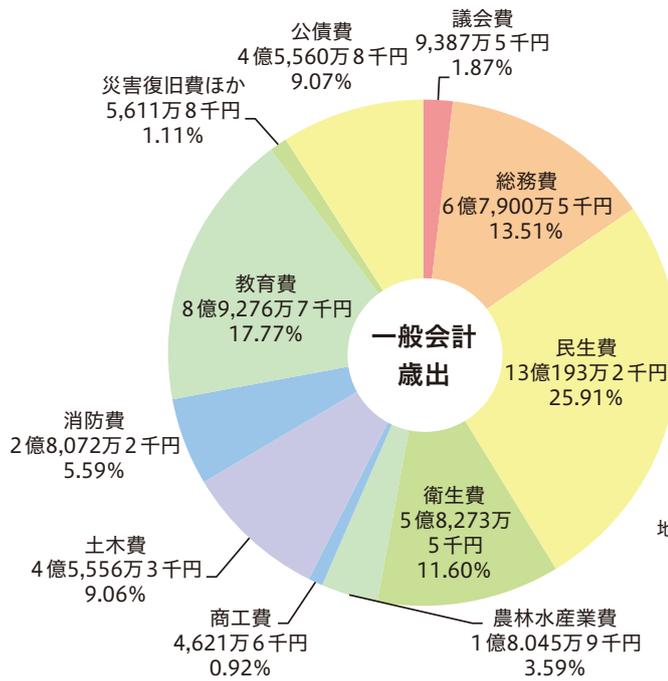
4

J R 小野新町駅開業 100 周年イベント

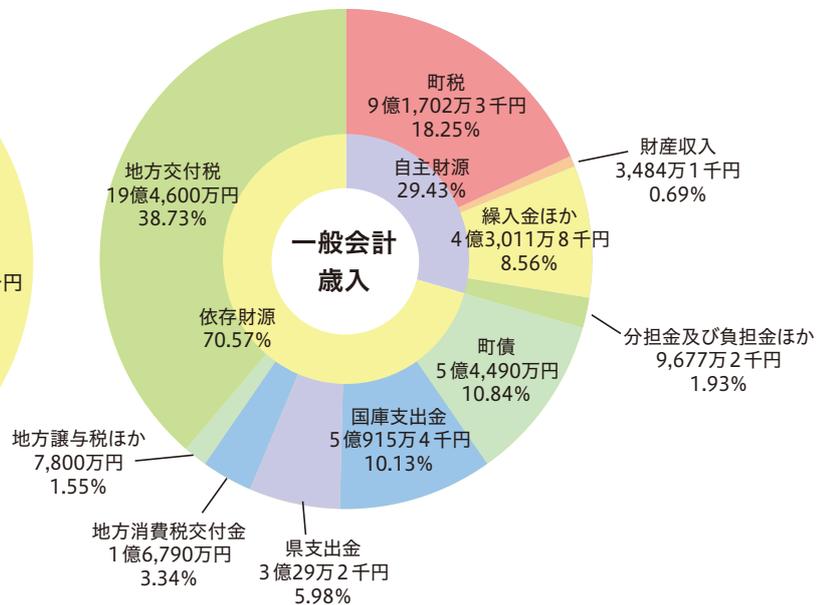
平成27年度 当初予算

当初予算の概要

平成27年度一般会計予算の総額は50億2500万円で、前年度対比10.2%、4億6,500万円の増額となりました。



■災害復旧費ほか…災害復旧費、労働費、諸支出金、予備費



■繰入金ほか…繰入金、繰越金、諸収入
 ■分担金及び負担金ほか…分担金及び負担金、使用料及び手数料、寄付金
 ■地方譲与税ほか…地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

予算編成の基本的考え方

平成27年度当初予算は、第四次小野町振興計画後期基本計画に基づく諸施策を基本とし、前年度に引き続き、東日本大震災からの復興および原子力災害に伴う放射線対策事業、過疎地域自立促進計画に基づく事業などに重点的に取り組む内容となっています。

一方で、財源には限りがあることから、多様化する町民からの要望を町の施策に適切に反映させることができるよう、関係団体、国、県などと緊密な連携を図るとともに、庁内においては課などの枠組みにとらわれず、組織横断的な視点で編成作業を行い、事業の必要性、優先度を十分に勘案し、「選択と集中」により「歳入に見合った歳出」の原則を堅持しながら効率的、効果的な予算編成を行いました。

用語解説

歳入

●町税

町民の皆さんに納めていただく税金です。町民税、固定資産税などがあります。

●地方交付税

国税のうち、所得税、法人税、酒税、消費税およびたばこ税の一定割合を地方公共団体が等しく事務を遂行できるよう一定の基準で国が交付する税です。

●国県支出金

国、県が使い道を決めて交付するお金です。

歳出

●議会費

議会運営に使うお金です。

●総務費

町政運営のための一般管理などに使うお金です。

●民生費

高齢者・障がい者・児童福祉などの支援に使うお金です。

●衛生費

健康増進、疾病予防、環境保全、清掃などに使うお金です。

●農林水産業費

農林水産業の振興や農業用施設の整備に使うお金です。

●商工費

商工業や観光振興などに使うお金です。

●土木費

道路などの整備、維持管理に使うお金です。

●消防費

消防、水防、災害対策に使うお金です。

●教育費

小・中学校、幼稚園、文化・スポーツ振興などに使うお金です。

●公債費

借入金の返済に使うお金です。

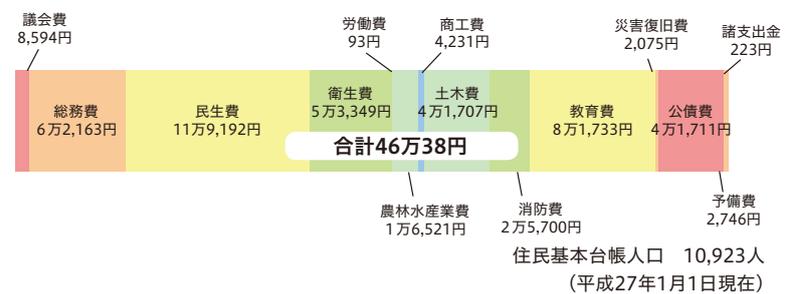
町税の状況

(単位：千円)

科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	増減率 (%)
町民税	391,178	405,522	△14,344	△3.54
固定資産税	403,410	410,611	△7,201	△1.75
軽自動車税	27,731	26,277	1,454	5.53
町たばこ税	94,684	97,611	△2,927	△3.00
入湯税ほか	20	17	3	17.65
合計	917,023	940,038	△23,015	△2.45

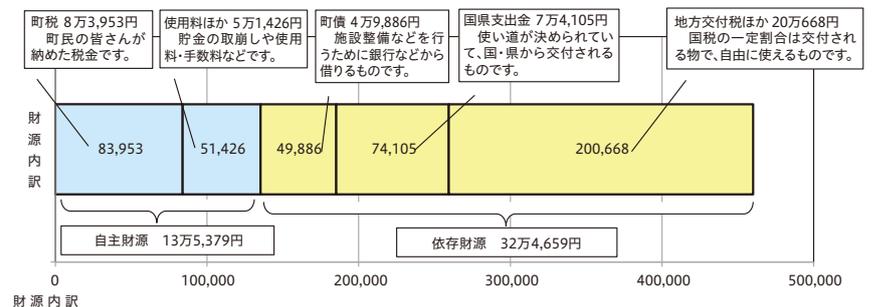
町民1人当たりの予算(一般会計)

(歳出)



(財源内訳)

単位：円



平成27年度会計別予算額

(単位：千円)

区分	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	増減率 (%)	
一般会計	5,025,000	4,560,000	465,000	10.20	
国民健康保険特別会計	1,510,402	1,370,000	140,402	10.20	
後期高齢者医療特別会計	106,372	108,000	△1,628	△1.50	
除染対策事業特別会計	53,000	850,000	△797,000	△93.80	
介護保険特別会計	1,170,540	1,067,000	103,540	9.70	
介護保険サービス事業特別会計	3,259	3,500	△241	△6.90	
浄化槽整備推進事業特別会計	85,499	71,000	14,499	20.40	
文化・体育振興基金特別会計	3,136	3,200	△64	△2.00	
水道事業会計	収益的収入	164,979	159,753	5,226	3.30
	収益的支出	159,739	155,945	3,794	2.40
	資本的収入	114,134	61,134	53,000	86.70
	資本的支出	191,913	166,804	25,109	15.10

主な投資的事業(300万円以上)

■一般会計

(単位：千円)

事業名	事業費
小野山神コミュニティセンター建設工事	56,160
庁舎事務室・議場空調設備設置工事	24,000
LED防犯灯更新工事	6,048
県立自然公園矢大臣山山頂展望台改修工事	6,480
合併処理浄化槽設置整備事業補助金	7,483
水路整備工事費	6,100
県営土地改良事業(農道整備)負担金	9,344
道路ストック総点検委託料 町道維持補修等工事	74,500
除雪ローダー購入	6,000
除雪用機材購入費補助金	13,000
町道拡幅改良等設計委託料、工事	48,000
町道舗装新設等工事	35,000
平館橋橋梁修繕工事	26,500
百目木・堀切線整備工事	62,795
北ノ内・宮ノ前線整備工事	28,300
右支夏井川河川改修事業負担金 流末水路整備工事	15,000
七合田団地長寿命化修繕工事設計委託料 合併処理浄化槽修繕工事	7,100
ポンプ置場・防火水槽新設工事 小型動力ポンプ・軽消防積載車購入	26,677
スクールバス購入	11,092
小野新町小学校壁剥離防止工事 飯豊小学校屋内運動場屋根改修工事	52,884
美術館等空調設備設置工事	43,200
野球場芝整備用車両購入	5,673
小野公園内多目的運動施設新設工事	298,057
現年度分災害復旧業務委託料	4,002
林業施設災害復旧工事	16,500

■浄化槽整備推進事業特別会計

(単位：千円)

事業名	事業費
合併処理浄化槽設置工事	57,857

■水道事業会計

(単位：千円)

事業名	事業費
重要給水施設配水管布設替工事 施設改修工事ほか	130,760

小野公園内多目的運動施設イメージ図



スクールバス



軽消防積載車



平成 27 年度 重点事業

《復興に関する事業》

事業名

観光イメージアップ事業
除染対策事業交付金事業
放射線健康サポート事業
町内産農畜産物を使った学校給食事業
福島県農林水産物PR支援事業
ふくしま森林再生事業
有害鳥獣駆除事業
学校給食検査体制整備事業
生涯スポーツ推進事業
(スポーツ大会・教室の開催)
美術館特別展事業

《60周年記念事業》

事業名

小野町60周年記念事業
(記念式典の開催・記念誌作成ほか)
ロゴマーク・イメージキャラクター作成事業
ご当地ナンバープレート発行事業
小町ふれあいフェスタ事業
地域づくり応援事業
(まちづくり活動を行う団体補助)
ふるさと納税推進事業
(納税者への礼品贈呈)
「国保健康づくり元年」事業
(スポーツ大会、健康に関する講演会開催)
元気発信!!笑顔と活気にあふれるまちづくり事業
(鼓笛パレード実施)
敬老会事業
こまちダムまつり・こまち湖健康ランニング教室・ウォーク大会事業
明日への活力!生涯学習推進事業
(生涯学習公演会開催)
文化財保護事業
(小野の獅子舞記録DVD作成ほか)

《後期基本計画主要プロジェクト》

事業名

●すこやか

特定不妊治療費助成事業
妊婦健康診査事業

●はぐくみ

幼児教育環境整備事業
(認定こども園整備検討)
学力向上対策事業
小野公園内の多目的運動施設整備事業
(屋根付き運動施設整備)

●げんき

企業誘致推進事業
結婚支援事業「出会いの場創出」
定住・二地域居住推進事業
6次産業化・振興作物推進事業
(黒にんにくなどの6次化商品開発支援)
農用地集積・基盤整備推進事業
多面的機能支払交付金事業
(水路・農道などの保全に係る共同活動支援)

●さわやか

再生可能エネルギー推進事業
県立自然公園環境整備事業

●あんしん

右支夏井川河川改修事業
右支夏井川河川改修事業に伴う配水管布設替事業
石綿セメント管更新事業
公共施設等整備検討委員会事業

■はぐくみ(つづき)

事業名

○教育環境の整備

スクールバス運行事業
放課後子どもプラン事業
安全・安心 学校維持管理事業(小学校)
幼児教育環境整備事業(再掲)

○生涯学習

勤労青少年ホーム管理運営事業
多目的研修集会施設管理運営及び機能拡充事業
社会教育総務事業(社会教育委員会)
生涯学習推進事業
公民館管理運営事業
元気発信!!笑顔と憩の広場事業
図書館管理運営事業
図書館資料整備事業
美術館特別展事業(再掲)
明日への活力!生涯学習推進事業(再掲)

○生涯スポーツ

スポーツ推進委員会事業
社会体育総務一般事業
スポーツ施設利用促進事業
学校体育施設開放事業
小野公園内の多目的運動施設整備事業(再掲)
生涯スポーツ推進事業(再掲)
こまちダムまつり・こまち湖健康ランニング教室・ウォーク大会事業(再掲)

○芸術・文化の振興

文化体育振興基金事業
ふるさと文化の館管理運営事業
美術館企画展事業
文化財保護審議会運営事業
郷土史料館管理運営事業
丘灯至夫記念館管理運営事業
美術館管理運営事業
文化財保護事業(再掲)

○人材育成

国際交流支援事業(小野町国際交流協会)
国際化人材育成事業
中学生の翼・海外体験事業

■すこやか

～みんなが輝き、健やかでふれあうまちづくり～

事業名

○社会福祉の充実

障がい者地域生活支援事業
障がい者相談支援事業
地域福祉計画策定事業
保健活動事業・国保ヘルスアップ事業(国民健康保険特別会計)
後期高齢者医療事業(一般会計)

○子育て支援

笑顔とがんばり子育て応援金支給事業
誕生記念品「おめでたいっすー」プレゼント事業
特定不妊治療費助成事業(再掲)
妊婦健康診査事業(再掲)

○高齢者の福祉

高齢者の社会参加活動支援事業
地域包括支援センターの充実
地域・在宅福祉推進事業、高齢者お助けサービス事業
介護予防事業
敬老会事業(再掲)

○健康づくり

がん検診推進事業
法定外予防接種事業
温浴・交流複合施設整備調査事業
保健センター調査研究事業
国保特定健康診査等事業、国保ヘルスアップ事業
「国保健康づくり元年」事業(再掲)

○地域医療の充実

公立小野町地方総合病院支援事業

■はぐくみ

～人を育み、豊かさが息づくまちづくり～

事業名

○教育の充実

特別支援教育支援事業(児童介助員支援事業)
森林環境学習事業
外国語理解教育推進事業
給食センター管理運営事業
学校給食検査体制整備事業(再掲)
学力向上対策事業(再掲)

■さわやか(つづき)

事業名

○二酸化炭素の削減

再生可能エネルギー推進事業

■あんしん

～安全・安心で幸せが実感できるまちづくり～

事業名

○安全安心対策

地域の安全安心担い手育成事業
 家庭から発信!!女性による地域防災力アップ事業
 わが町を守る!!消防・防災力向上事業
 消防団をもっと身近に!!「消防団PR事業」
 安全・安心のまちづくり事業
 消防団技術向上支援事業
 除染対策事業交付金事業(再掲)
 放射線健康サポート事業(再掲)
 元気発信!!笑顔と活気にあふれるまちづくり事業(再掲)

○公共交通の充実

新公共交通システム整備事業

○水資源の有効活用

上水道事業
 石綿セメント管更新事業(再掲)
 右支夏井川河川改修事業(再掲)
 右支夏井川河川改修事業に伴う配水管布設替事業(再掲)

○道路網の整備

町単独道路改良事業
 町単独道路舗装新設事業
 公共道路整備事業
 町道及び生活道路維持事業及び側溝整備事業

○住環境の整備

公営住宅管理事業

○行財政改革

行財政改革の推進
 効率的な財政運営
 町有財産維持管理事業(財産管理一般)
 町税等賦課徴収事業
 小野山神コミュニティセンター建設事業
 小野町60周年記念事業(再掲)
 ロゴマーク・イメージキャラクター作成事業(再掲)
 ご当地ナンバープレート発行事業(再掲)

■げんき

～活気に溢れ、にぎわいが増していくまちづくり～

事業名

○企業誘致

企業誘致推進事業(再掲)

○定住・交流・観光事業の推進

地域おこし協力隊設置事業
 首都圏等観光キャンペーン事業
 地域づくり応援事業(再掲)
 結婚支援事業「出会いの場創出」(再掲)
 定住・二地域居住推進事業(再掲)
 観光イメージアップ事業(再掲)

○農林業・工業・商業の振興

畜産振興事業
 水田農業振興事業
 農業用施設維持管理事業
 ミネラル野菜づくり推進事業
 商工関係団体補助事業
 まちづくりアドバイザー事業
 福島県農林水産物PR支援事業(再掲)
 6次産業化・振興作物推進事業(再掲)
 有害鳥獣駆除事業(再掲)
 ふくしま森林再生事業(再掲)
 農用地集積・基盤整備推進事業(再掲)
 町内産農畜産物を使った学校給食事業(再掲)
 多面的機能支払交付金事業(再掲)
 小町ふれあいフェスタ事業(再掲)

■さわやか

～快適環境を創造し、ともに助け合うまちづくり～

事業名

○水環境保全

ごみの減量化・リサイクル推進事業
 不法投棄・公害対策事業
 浄化槽整備事業
 合併処理浄化槽設置整備事業

○森林環境の保全

造林補助事業

○自然環境の保全

県立自然公園環境整備事業(再掲)



左から岡崎所長、町長、森田支部長

小野町が交通事故防止コンクールで3位に

平成26年の福島県市町村別交通事故防止コンクールにおいて、小野町は人口1万人以上3万人未満の町村のグループで3位の表彰を受け、田村警察署小野分庁舎岡崎所長および交通安全協会森田小野支部長に報告しました。

これは、平成26年の交通事故発生件数などが過去3年間に比べ大きく減少した市町村に対して贈られるもので、町民の皆さんが一丸となり、交通安全に取り組んだ成果です。

平成27年においても、交通安全運動を積極的に推進し、安全・安心な町にしましょう。

ひと足早く春を 練習の成果を発表

2015小野町スプリングフェスティバルが3月8日、多目的研修集会施設で開かれました。

これは、多目的研修集会施設、勤労青少年ホームなどで活動している芸術文化団体が、住民の方に日頃の練習の成果を発表するとともに、各団体の交流の場として毎年行っているもので、今年は9団体(約150人)が出演しました。

会場には約300人が来場し、春を迎えるにあたり素晴らしい演奏やダンスを楽しんでいました。

最後に当町出身の丘灯至夫先生が作詞した「高原列車は行く」を全員で合唱し、幕を閉じました。

■出演団体(出演順)

- ・琴城流大正琴小町さくら会(大正琴)
- ・健康ダンスクラブ(ダンス)
- ・なみ音会(箏)
- ・マドリガルコーラス(合唱)
- ・小町夢太鼓(和太鼓)
- ・楽しいハワイアンダンス(ハワイアンダンス)
- ・フルーツアンサンブルアマビーレ(フルーツ)
- ・小野町ダンス愛好会 銀の靴(ソシアルダンス)
- ・小町混声合唱団(合唱)



1_マドリガルコーラスの皆さん/2_楽しいハワイアンダンスの皆さん/3_小町混声合唱団の皆さん



左から中森所長、町長、星さん、宗像会長

自衛隊入隊者を激励

自衛隊に入隊される星龍晴さん(仲町)の入隊者激励会が役場で行われました。

入隊される星さんに、町長、中森自衛隊福島地方協力本部郡山地域事務所長、宗像芳男小野町自衛隊父兄会長から、それぞれ記念品および社会人・自衛官としてのアドバイスと激励の言葉が贈られ、星さんは、心を新たにされた様子で聞き入っていました。

星さんは、陸上自衛隊多賀城駐屯地に配属されます。ご活躍を期待します。

J R小野新町駅 開業100周年を祝う

J R小野新町駅開業100周年イベントが3月21日に小野新町駅で行われ、町内外から約1,200人が来場しました。

特設ステージでは、記念式典をはじめ、福が満開ふくしま隊のパフォーマンスやタレントなすびさんのトークショー、小町夢太鼓の演奏などのほか、駅舎では小野町出身で磐越東線に関する著書のある渡邊伸二さんの講演会などが行われました。

記念式典では、坂本伊武稀さん(小野新町小3年)と吉田琴美さん(小野新町小3年)が「一日駅長」に任命され、「リカちゃん」と一緒に4月から始まる「ふくしまデスティネーションキャンペーン」に合わせ、沿線の名所を車体に描いたラッピングトレインのお出迎えをしました。

ご当地グルメ「おのまち小町アイスバーガー」や県中地区12市町村の食材を用いた「おもてなし女子駅弁」が限定で販売されたほか、石臼でひいた小野町産のそば粉の生地にはチーズやハウレンソウなどを挟んだ「おのまち小町ガレット」の試食会、ミニS Lの乗車体験などが人気を集めていました。

イベント開催にあたり、地元の方々をはじめ、ご協力いただいた皆さんに厚くお礼申し上げます。



1_ラッピングトレインを出迎える一日駅長の吉田さん(右から4番目)と坂本さん(左から4人目)ら / 2_渡邊さんによる講演会 / 3_12市町村の味が詰まった「おもてなし女子駅弁」

平成26年度

「町政報告会」



町政報告会の様子(多目的研修集会施設)

2月16日から24日にかけて行われた町政報告会での町長からの町政報告および町民の皆さんから寄せられたご質問、ご意見などについて、主なものをご紹介します。

町政報告

■除染対策事業

平成25年5月1日付けで町民生活課内に除染推進室を設け、職員を増員して旧町村単位の仮置場設置などにあたらせることとした。

26年度は、重点期間の2年目として、飯豊・小野新町地区の仮置場設置、生活圏の除染作業を行い、生活圏の除染は一通り完了した。仮置場については、26年度に飯豊地区が完成する見込みであり、小野新町地区についても、今年の9月頃に完成する見込みである。

今後は、中間貯蔵施設への試験輸送が27年度から予定されている。除去土壌な

どの量が3地区合わせても1,000袋に満たない見込みとなっており、ことから、すべての中で搬出できる見込みである。



■企業誘致推進事業

かねてから企業誘致に向けた取り組みを進めていた鶴庭工業用地の下段部分に、株式会社三宝製作所の立地が決定。昨年10月に工場が完成し、11月から操業を開始した。

同用地の上段部分につい

ても、株式会社アブクマの立地が決定し、現在、本年11月の操業開始を目指し事業が進められている。

■子育て応援金事業

子育て支援対策の一環として、町を挙げて次代を担う新たな町民の誕生を祝福し、出生児の健やかな成長を願うことを目的に応援金(第1子10万円、第2子15万円、第3子以降20万円)の支給を行っている。

■特定不妊治療費助成事業

子供を望み特定不妊治療を行う夫婦に対し治療費の一部(年2回、5年間を限度に1人1回10万円)を助成している。

平成23年度から開始し、

26年度まで6人の方(延べ10件)が利用し、出産2人、妊娠中の方が2人と成果が上がっており、平成27年度は1回の助成額を15万円に増額することを検討している。

■6次産業化・新振興作物栽培推進事業

平成25年度から町の新たな振興作物として「にんにく」の作付けを開始。収穫されたにんにくを用いて、生産組合ペルサルにてより6次化商品「黒にんにく」の開発が行われ、9月から販売を開始した。その後、直売所を中心に順調な売れ行きとなっている。



■農用地集積・基盤整備事業

現在、浮金地区において、「人・農地プラン(地域農業マスタープラン)」の策

定作業を進めており、担い手への農地の集積を進めている。

そのほか、基盤整備促進のための説明会を各地区で開催。

また農地の草刈りや水路の掘り上げなど、日頃の農作業で実施されている農地や農業用施設の維持・補修作業などが今年度から創設された「多面的機能支払交付金事業」の対象になることから、広く事業の普及促進を図るために説明会を開催した。

■屋根付き運動場の整備

子供たちがのびのびと運動する機会を提供するため、小野公園内の既存のテニスコート1面を利用して屋根付き運動場(屋内運動施設)を整備する。26年度は地質調査業務と実施設計業務を委託。27年度中に施設の完成を予定している。

■学力向上対策事業

児童生徒の学力向上のため、小中学校での土曜授業、中学生の課外授業(夏季休業期間中)、英語、漢字、数学検定の検定料助成を実施。

め、小中学校での土曜授業、中学生の課外授業(夏季休業期間中)、英語、漢字、数学検定の検定料助成を実施。

■公立小野町地方総合病院

建設中だった新病院が完成し、3月1日開院、3月3日外来診療開始となる。なお2月15日に病院内覧会を実施した。

■笑顔と活気が溢れる町「小野町元気発信パレード」の実施

小学生を中心に町民が一体となったパレードを実施し、安全・安心で災害のない、笑顔と活気に溢れる、元気な小野町を町内外にPRした。

■小野中学校消防クラブの結成

中学生を対象に少年消防クラブを組織し、若い世代から防災活動に参加させ、防災意識の定着を図った。

■こまち女性消防隊の結成

日常生活で一番身近な家庭から、防災指導や応急手当の普及活動、火災予防活動など、地域に密着した活動を展開し、女性ならではのきめ細やかな対応により幅広い年齢の方に防火防災の普及を行うために結成。

■右支夏井川河川改修事業(上流工区)

稲荷橋から役場裏までの区間、約1キロメートルの河川改修工事を実施。事業期間は10年間。26年度は町内4地区で河川改修事業説明会を開催したほか、家屋が移転となる方を対象に個別訪問を行い、意見などを伺った。

■今後、代替地を希望する

移転対象者の方に対し、町で代替地のあっせんを行うほか、一部、町が用地を取得して分譲住宅地を整備する。

県中建設事務所では、家屋の物件調査を進めており、26年度は最初の工事(河

川の暫定掘削工事)を行う本町行政区を中心に、物件調査を実施した。

■時報曲更新

平成26年10月1日から、故丘灯至夫氏が作詞した曲を正午、午後5時、午後9時の時報曲として放送することとした。

■第四次小野町振興計画後期基本計画の策定

平成26年度から平成30年度を計画期間とする第四次小野町振興計画後期基本計画を平成26年3月に策定した。

■小野町過疎地域自立促進計画の策定

平成26年4月1日「過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律」の施行に伴い町が過疎地域に指定されたことを受け、小野町過疎地域自立促進計画を策定した。

主なご意見やご要望

■少子化対策・結婚支援

Q. 少子化対策に力を入れてほしい。地域に30代、40代で未婚の方がいるため、各行政区に結婚推進員(相談員)を置くなどしてまずは自身の方の結婚を支援する政策を考えてほしい。

A. 少子化は町だけではなく日本全体の問題。国も力を入れており、以前森まさこ元少子化担当大臣にお会いした際には「福島県の場合、結婚した夫婦であれば平均して2人の子供がいるというデータがあるので、少子化対策としてまずは結婚を支援してはどうか」と勧められた。

現在、町では異業種交流会による婚活イベントの準備が進められており(※報告会当時の状況。3月8日イベント実施)、町としてもこれを支援して男女の出会いを応援していく考えである。

お話のあった結婚世話人

を置くのも地域の結婚を促進する一つの方策と思う。

Q. 少子化対策の意味で、病院に産婦人科と小児科の設置をお願いしたい。

また過去の将来人口予測で20年後に町の若者が半分以上になってしまおうというものがあつたが、実際にはもっと減ってしまう可能性もあると思う。人口がどのくらいあれば町はやっていいのか考えないといけないのではないか。

A. 病院については、県全体で医師不足が問題となっており、産科医の確保がでない状況が続いている。医師確保に向けた取り組みは現在も行っているところであり、今後も継続して取り組んでいくのでご理解をお願いしたい。

少子化は、結婚してから子供が生まれるまでに一定の時間がかかることもあつてすぐに解決することは難しい問題である。国もようやく本気になってきたところ

るので、町としても人口減少に歯止めをかけるために努力していく所存である。簡単ではないが、未婚者の結婚を促進し、人口減少に歯止めをかけるための取り組みを進めていく。

■住宅などの整備

Q. 町に復興のための交付金がたくさん入っていると思うが、それを活用して復興のための住宅を建ててはどうか。小野町は交通の便が良いし、住居を求めている人はたくさんいると思う。

A. 町としては、活用できる交付金は最大限使っていくという方針だが、復興のための交付金はさまざまな種類があり、それぞれ活用できる用途が限られている。現状、小野町がもらえる交付金で住宅を建てるのは難しい。

Q. 町では今、かなりのスピードで人口が減っていると思う。人口減少への対策としては、若者の定住が必要だ



と思うが、そのためには住むところが必要である。若者や避難者をターゲットにした公営住宅を建てる考えはないのか。

A. 公営住宅については、既存のものの改修を基本的に考えているが、民間アパートが避難者や作業員の需要があつていっぱいになっていく現状を考えると、少子化と人口減少を解決するにはその受け皿となる住宅が必要なのは間違いない。適地があれば建設したいという思いはあるため、建設の候補地——公立病院の跡地など——や運営方法——若者向け住宅の試験実施など——について検討し、町内に入ってくる人たちのための環境整備を行いたい。また小野高校についても支援

を行い、卒業した若者が少しでも定住するよう取り組んでいきたい。

Q. 町外からの移住に対する町の受け入れ体制はどうなっているのか。具体的な施策はあるのか。

A. 移住者の受け入れについては、これまで民間団体と協力して取り組んできており、体制の整備を図ってきたところ。今後は空き家の活用などが必要になると考え、実施を検討していた。

町営住宅は現在空きがない状況だが、可能な限り情報提供などを行っていききたいと考えている。

■企業誘致

Q. 雇用の場を確保するのが人口減少対策として一番だと思うので、工業用地の確保をお願いしたい。鶴庭工業用地の南側の広い池を埋め立てて工業用地にできればもう1社くらい立地できるのではないか。

また6月議会の一般質問時には費用対効果を考えて

オーダーメイドなどを検討することだったが、企業誘致のための土地を確保しておくことについて町長の考えを聞きたい。

A. 鶴庭工業用地の南側の池は調整池と呼ばれるもので、開発の段階でつくったものをその後も残さないといけない決まりになっており、池のままにしておく必要がある。

企業誘致のための工業用地については、財政の問題などもあってオーダーメイド方式を検討しているが、これからも本気で誘致活動に取り組んでいくことに変わりはない。

Q. 新たに立地が決まった2社によってどのくらいの新規雇用が生まれたのか。

また地元雇用の状況はどうなっているのか。

A. 2社で15人ほどの新規雇用が行われるとのこと。なお今後も雇用は増やしていくとの話を聞いている。

地元からは、中途採用に

加えて小野高校からの新卒採用も行われているとのことである。



■教育

Q. 教育施設を整備して優秀な子供が育つても、みんな町を出て行ってしまおうという問題があると思うが、これについてはどう考えているのか。

A. 優秀な子供を地元に残すには、優秀な人材が働く場を確保するのが大前提になるが、それ以外にも、地元を大事に思う気持ちを育てることなども大事なかもしれないと最近考えるようになった。このことについては、来年度策定する地方版総合戦略において検討していきたい。

Q. 小中学校では全国的な試験が行われていると思うが、小野町の水準はどのくらいなのか。教育水準を上げれば周辺からの人口流入にもつながると思う。

A. 学力状況調査(国語・算数(数学))の結果を見ると、小学生については、知識を問う問題は全国平均よりも少し良いが、知識の活用を問う問題の成績は全国平均よりも少し低い(特に図形)。中学生については、両方とも全国平均を下回っており、特に国語の基本的な読み取りの部分が弱い。こういった傾向を把握し、小学校と中学校の間の連携を図るつなぎ教育に取り組んでいる。

先進地の例では、知識の活用については家庭の学



習環境も大きく影響すると言われていることから、学校・家庭・地域の努力が学力向上につながると考える。

■除染関係

Q. 町内各地に仮置場が整備されてきているが、仮置きしたものを中間貯蔵施設まで運びきるにはどのくらいかかるのか。

A. 新聞などでも報道されているとおり、試験輸送が平成27年度から始まるとされているが、中間貯蔵施設のための用地交渉が進んでいないのが現状である。無事に建設されたとしても、県内の各市町村から次々と搬入が行われることが予想されるので、小野町の分の搬入がいつ終わるかは予想できない。

■病院

Q. 公立病院の常勤医師が2人のみのため、救急医療体制が未整備である。医師確保は、県と医大への陳情だけで



は難しいのではないかと。ほかの病院との連携模案など、改善すべき最重要課題として取り組んでほしい。

A. 私も個人的に医療連携は非常に重要だと考えている。実際に、いくつかの病院からは、必要があれば協力していきたいとお話をいただいているところ。また、ほかの地域の病院では、県立医大だけでなく、首都圏の私大などと連携して非常勤医をそこから招くなどの取り組みを行っているということなので、参考にしていきたい。

医師不足については、ただ声を上げるだけではなく、相応のお金を出すなどきちんとした雇用環境を整えたい。病院は企業団として独立した組織となってい

るため、理事長の意向がそのまま反映されるわけではないが、おっしゃる通り何にでも取り組んでいく気持ちで問題を解決していきたい。

■農業

Q. 昨今の米価下落や耕作放棄地拡大の問題について、町としての対策はあるのか。近隣では種もみに対して補助を出すところもあるようだが。

A. 米価下落については、県で対策をとっており、Jでも対策が行われているところ。須賀川では市として助成を行うことを決めたようだが、本町では他の近隣市町村の動向も見ながら担当課で検討を行っている段階である。



最近ではコメ余りの状況にあるせいか、米価下落の厳しさなどについて陳情を行っても理解を得られにくくなってきていると感じている。国も多面的機能支払交付金のように、単純にコメを作ることに対してお金を出すのではなく、支援の仕方を変えてきている。

コメ余りの現状を打破するのは難しいが、町としてもなるべく農家の皆さんが収入を得られるよう、6次化やミネラル野菜などの新たな取り組みを支援していきたい。

Q. 集落営農の視察を行ったが、大変良かったのでぜひ実践したいと思う。もしスタートすれば町の支援が必要になるので、ぜひお願いしたい。

A. この機会を利用してやってほしいという考えはある。地域全域でできれば良いと個人的には思っているのですが、ぜひ取りまとめをお願いしたい。農村環境維持の観点からも大事な

で、力を入れていきたい。農業は現在転換期にあり、担い手の呼び込みや法人化、農地の集約など、いかに省力化して経営しているかを考える時期になっていると思う。今後のことについて、町と担い手の皆さんで考えていければと思う。

Q. 基盤整備で土地を整備することは歓迎だが、整備した土地をその後維持する人手についてはどう考えているのか。すでに遊休地ができて始めているところもある。

A. 何はともあれ基盤整備は必要なものなので、本気で取り組んでいきたい。農地が整備されて十分な省力化が図られれば、定年を迎えた人たちに就農してもらうという考えもある。その姿に触発されて自分もやってみようという人が現れればなお良い。

■農地法

Q. 何か事業をしようとして

も、農地法の都合で開発できない場合がある。例えば再生可能エネルギーをやるうとしても、予定地に農地があつてできないこともある。規制を緩和する特区などはないのか。

A. 農地法は優良農地を守る必要があつてきたものなので、規制が厳しい。個別の土地について協議して規制を外すことはできるが、ある区域全部で何でもできるようなものというのには難しい。農業委員会とも相談してやっていく必要がある。

■中心市街地活性化

Q. 荒町商店街は小野町の中心部にあるが、最近空き地が目立つ。今度病院も移転してさらに空き地が増える。町での対策というのは難しいと思うが、街中に人が集まれる場所があると良いのではないか。

A. 商店街の構造が昔と今とでは丸つきり変わってしまつており、復活させるの

はなかなか難しい。私見ではあるが、小野町の中心部がどこかということがはっきり分かるようにする意味で、公共施設は街中に置きたい。

人口の減少は消費の減少につながるため、人を集め、減らさないことが重要と考える。働く場の確保、生活環境の整備といった定住のための環境整備を行い、人口減少にブレーキをかけていくことが商店街にとってもプラスになると思う。

■空き家対策

Q. 中心市街地で空き家が目立つ。解体して空き地にした方が良いような状態のものから、手入れすれば移住者向けに貸し出せそうなものまでさまざまである。町として何か空き家対策はないのか。

A. 空き家については、権利の関係で難しいところがあり、国も課題としているところ。

いる。

■新エネルギー

Q. 地元周辺に非常に風が強くて有名な場所があるのだが、これを生かして風力発電所を造ってみてはどうか。
自然エネルギーで環境に優しいし、発電した電気を売れば町の収入になる。

A. 風車を建てるにはかなりの初期投資が必要とのことである。また固定価格買取制度の見直しが行われるなど、再生可能エネルギーを取り巻く条件が変わってきているところなので、町としてもしつかり検討した上で結論を出していきたい。

■街路灯

Q. 町にたくさんある街路灯のLED化を進めてはどうか。

A. 26年度、小野新町地区の街路灯連絡協議会が国の補助制度を活用して市街地の街路灯254基のLED化を行っており、町もこれ

を支援している。

防犯灯についても、新設するものはLEDとしている。また既存の防犯灯もLEDに交換していきたいと考えている。



■公共施設

Q. 文化の館の年末休業が多く、お正月に利用したいという人が利用できない状況である。完全休館は12月31日と1月1日くらいにしてあとは開けてはどうか。このような施設は周囲が休みのときに開いていないと人が来ないと思う。

また3月の特別整理期間ももっと短くできないか。本の整理は中学生・高校生のボランティアなどを活用すればもっと早く終わらせることができるのではない

か。子供たちが本に目を向けるきっかけにもなる。
A. 今後精査の上で検討を行いたい。

Q. 行政の一部機関で雰囲気や対応が良くないところがある。町外からいらっしゃる方もいるのだから、もっと親切に対応するべきである。

A. 職員対応の状況については、今後精査の上で適切な指導などを行いたい。

Q. 小野町の学校にエアコンが必要か。汗をかかない子供は熱中症になりやすい。子供の頃から自然の環境に慣れることがその後の健康のために良いのではないか。

A. エアコンについては、放射性物質の影響などを勘案し、窓を閉め切って授業を行うことに配慮した震災後の交付金などを用いて導入したもの。気温、室温、湿度に加え、子供たちの体力や状況を見ながら適切に使用したいと考えている

が、頂いたご意見も参考にしながら使用方法を検討していきたい。

■消防団員

Q. 町の消防団員は現在定員を満たしているのか。昔と違って今は家庭の理解が得づらくなっていると思うので、定員を満たしていないときは行政区としても啓発方法を考えるようにしたい。

A. 消防団の定員は380人であり、ほぼ確保されている状況である。

■高齢福祉

Q. 高齢化への対応は、具体的にどういものが行われているのか。

A. 高齢化は自然の現象で当たり前のことと考えている。福祉サービスについては、要介護認定に基づく介護サービスの提供、老人クラブや御達者クラブの活動支援など、これまでもさまざまな取り組みがなされており、従前通りの取り組み

震災時の解体支援など、

制度が活用できそうな物件については対応策を打ったが、空き家は所有者がなくなか手放してくれない場合もある。

また中心市街地の空家問題は、郊外型店舗の普及などといった社会情勢とも関係しており、すぐに解決することは難しい問題である

■河川改修

Q. 現在病院(※移転前)の辺りで行われているのは暫定的な掘削で、最終的な川の形になる前の川の拡幅とのことだが、きちんと工事しきらないうちに下流の工事(次の工程)に取り掛かって大丈夫なのか。

A. 河川改修については、被害を減らすためにまずは狭隘な区間を暫定掘削しているとのこと。工事についても、上流の川幅から広げてしまうと狭いままの下流で洪水が起きてしまうので下流から工事すると聞いて

を続けていく。

加えて、医療や介護をそれほど必要とせず、元気に暮らせる時間、いわゆる健康寿命を延ばすための健康づくりやバリアフリーなどに代表される、高齢者でも住みやすいまちづくりが今後、高齢者のために必要な取り組みになってくるものと思われる。

Q. 認知症の予防事業などは行われているのか。

A. 介護予防、認知症予防的な町の事業として、老人クラブへの助成、お元気クラブの応援、老人作品展、芸能発表会、シルバー人材センターへの支援、地域包括支援センターの充実（介護予防ケアマネジメント、相談事業、権利擁護事業）、単身高齢者の住居清掃・散歩付添・相談などのサービス、要介護となるおそれのある高齢者の把握と対応などが行われている。

Q. 病院が新築されて移転するが、病院は病気を治すところなので、病気になる前の予防が大事と考える。高齢者が気楽に通える街中に運動施設はできないか。

小野公園内に多目的運動施設を造るということだが、そこだとなかなか行くのが大変なので、各行政区に置くとか、病院跡地に造るといったことはできないか。

A. 小野公園内に建設する多目的運動施設は、子供の運動機会を確保する目的で国の交付金を活用して造るため、公園や運動場と隣接した現在の建設予定地に整備することにしたものである。

高齢者が利用しやすい健康増進施設を街中につくることについては、今後検討していく。

■その他

Q. 福島民報新聞、福島民友新聞の「今日の出来事」欄に小野町の行事が載る機会が少ない。人が町に足を運ぶ

きっかけになるので、もっと積極的に行うべきである。
A. 行事日程については、新聞社にその都度送付を行っているが、各課にさらなる情報提供を促し、小規模な行事などでも掲載されるようにしていきたい。



開催日時・場所

日程	会場	該当地区名
2月16日(月)	上羽出庭地区農村研修センター	塩庭一区、塩庭二区、上羽出庭、和名田
2月17日(火)	夏井多目的集会施設	夏井、南田原井、湯沢
2月18日(水)	小野町立飯豊小学校	飯豊上、飯豊中、飯豊下、吉野辺、小戸神
2月19日(木)	浮金集落センター	浮金
2月20日(金)	小野赤沼多目的集会施設	小野赤沼、菖蒲谷、雁股田、小野山神
2月24日(火)	小野町多目的研修集会施設	本町、横町、仲町、反町、大八、荒町、中通、平館、谷津作、皮籠石

※開催時間 午後6時30分から午後8時まで
※町からの出席者 町長、副町長、教育長ほか

小野町役場 職員配置図

■町長事務局

町長 大和田 昭		副町長 鈴木 慎也	
総務課	課長	阿部 京一	
	副課長(総務担当)	郡司 功	
	副課長(財政担当)	村上 昭一	
		熊谷 真也	新田 徹
		先崎 悟	吉田 靖章
	曾根真理子	佐藤 真路	
	石井 友菜(新採用)		
企画政策課	課長	佐藤 浩	
	副課長(企画政策担当)	先崎 実	
		草野 隆行	先崎 博昭
税務課	課長	藤井 義仁	
	副課長(課税担当)	矢吹 昌之	
	副課長(収納担当)	吉田 徳一	
		吉田 誠	清野 淳子
	清水 綾子	草野 澄恵	
	先崎 英樹		
町民生活課	課長兼除染推進室長	村上 春吉	
	副課長(町民担当)	折笠 裕之	
	副課長(環境安全担当)	佐藤 金哉	
	主幹兼除染推進室副室長	先崎 秀一	
		西牧 貴子	先崎 勝人
	猪狩 信輔	根本 理恵	
	齋藤恵理子	遠藤 浩輝	
	會田 喜樹	新田 晟也	
健康福祉課	課長	山名 洋一	
	副課長(高齢福祉担当)	鈴木 稔	
	副課長(社会福祉担当)	吉田ひろ子	
	副課長(健康・子育て支援担当)	根本 洋子	
		根本 要子	大川原幸子
	吉田由起子	先崎 淳子	
	山口美賀子	成田ひとみ	
	渡邊 裕之	鈴木 悠太	
	吉田 寛紀	中野 隆子	
	二瓶 浩美		
産業振興課	課長	石井 一一	
	副課長(農政振興担当)	二瓶 淳	
	副課長(農地林務担当)	味原 広一	
	副課長(商工観光担当)	赤坂 泰秀	
		先崎 英典	矢吹 美加
	清野 昭雄	鈴木香代子	
	根本かえで(新採用)		
地域整備課	課長	遠藤 靖次	
	副課長(管理水道担当)	照山 真	
	副課長(地域整備担当)	矢吹 浩司	
		館川 幸義	郡司 幸喜
		宗方 保之	根本 慶一
	二瓶由佳子	鈴木 健之	
	館川 睦礼	国分 勝理	
	吉田浩太郎		
出納室	会計管理者兼出納室長	宗像 喜也	
		郡司 治子	宗像 玲子

■議会事務局

議長 村上 昭正		副議長 久野 峻	
事務局	事務局長	吉田 浩祥	
	次長	折笠 顕一	

■農業委員会事務局

会長 長谷川栄伸		
事務局	事務局長(兼務)	石井 一一
	次長(兼務)	二瓶 淳
	(兼務)	鈴木香代子

■教育委員会事務局

教育長 西牧 裕司			
教育課	課長	吉田 吉広	
	副課長(教育総務担当)	西牧 英一	
	副課長(生涯学習担当)	今泉 令子	
	教育課		平原 信男
			佐藤 瞳
			管野 正尚
			武藤 光
			上遠野友昭
	公民館	松本 一	
		西牧 泰弘	
	ふるさと文化の館	籠田まき子	
		西牧美也子	
	町民体育館	渡辺 みき	
		吉田 雅俊	
	小野わかば幼稚園	園長	過足 文江
			矢吹真由美
		七海 希	
	(新採用)		
中央さくら保育園	園長	中原 智子	
		石井小百合	
		藁谷美枝子	
		会田由紀子	
		渡邊 梨恵	
		吉田 美佳	
		三浦 ふみ	
		佐藤 美紀	
		(新採用)	
		吉田とよ子	
夏井おおすぎ保育園	園長	村上 昌子	
		小沼 和子	
		根本 早苗	
	宗像美津江		
	宗像 孝子		
飯豊ひまわり保育園	園長	草野ゆかり	
		今野 真弓	
		榎内 洋子	
	塩田 淳子		
浮金つつじ児童園	園長	佐藤 浩子	
		吉田 由美	
小野新町小学校	用務員	村上 英子	
小野中学校	用務員	菅野由美子	

■退職(3月31日付け)※()は退職時役職

荻野 治美
 (副参事兼副課長(生涯学習担当)兼ふるさと文化の館館長兼町民体育館長兼海洋センター所長)
 遠藤 いく(主幹兼中央さくら保育園長)
 館川みや子(用務員)

■田村広域行政組合派遣(平成29年3月31日まで)

吉田 隆
 (環境課主幹兼田村東部環境センター所長)

■福島県派遣(平成28年3月31日まで)

村上 香(総務部市町村総室)

介護保険料を改定します

1号被保険者保険料 月額5,560円(1,160円の増)に
安定した高齢者福祉サービスの提供のために

小野町の課題

町では、3年後、10年後の高齢者の状況がどのように変化するかさまざまなデータをもとに、今後の高齢者福祉や介護サービスの在り方を検討してきました。

その結果、重点的に次の5項目に取り組むこととしました。

- ① 健康寿命延伸を目指す介護予防事業の充実
 - ② 高齢者がいつまでも社会との関わりを持つことができる環境整備
 - ③ 高齢化に伴う認知症高齢者への対応
 - ④ 医療と介護の連携と地域包括ケア体制の構築
 - ⑤ 高齢者のみの世帯への対応
- これらの課題に対応するため、新しいサービスの提供も含め、民生委員・社会福祉協議会その他関係団体との連携を強化しながら、サービス内容の充実を図ることとしました。

在宅サービス

既存の事業所でのサービスに加え、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加していることから、細やかな在宅サービスを提供できる「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」サービスを平成29年度から提供できるよう準備を進めることとしました。

また地域密着型特別養護老人ホームでは、入所者が入院などで短期間ベッドを空けたとき利用できる「空床型ショートステイ」のサービスを提供できるよう給付費を見込みました。

施設サービス

平成25、26年度に認知症対応型グループホーム・地域密着型特別養護老人ホームを整備したことや近隣自治体での広域型特別養護老人ホームの整備状況を勘案し、今

後3年間は整備しないこととしました。

介護予防や医療介護の連携

団塊の世代が65歳を越えてきています。これらの方々が将来いつまでも元気であるために早めの介護予防対策が必要です。介護・認知症予防、健康づくり事業のさまざまな事業を実施します。また医療ニーズが高まってきており、切れ目のないサービスを提供するため医療分野と介護分野の連携が求められています。町では社団法人田村医師会などと田村地方医療介護連絡協議会に参画し連携強化を図ります。

介護保険料の算定

介護保険の財源は、公費と保険料でまかなわれています(次ページ表参照)。法律上、第1号被保

険者(65歳以上)の負担は、高齢者数の増加に伴い1%増の22%に改正され、これに、平成27年4月から3年間のサービス量を見込み、保険料月額を算定しました。

平成27年4月からの保険料

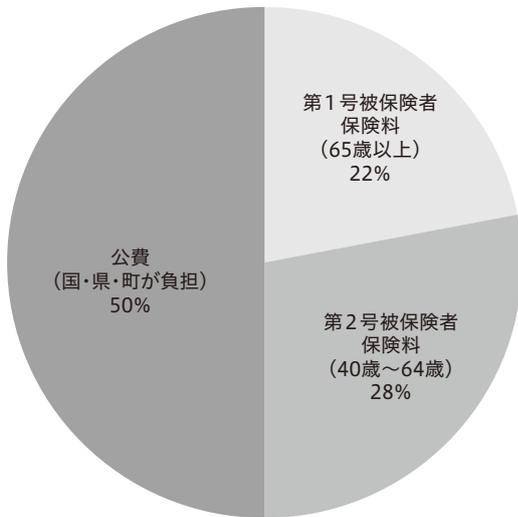
低所得者の保険料軽減事業も実施し、平成27年4月から平成30年3月までの3年間適用される小野町の介護保険料は次のとおりです。全国的に介護保険料の上昇が著しいことから、国・県・町では消費税増税による収入を充て、低所得者の保険料軽減事業を実施します。平成29年4月からは第3段階までの被保険者の保険料を軽減する予定です。

サービス量の増加により基準月額で1,160円の値上げとなりますが、これからの高齢者介護サービスの充実のためご理解をお願いいたします。

平成27年4月からの保険料

所得段階	本人等の状況	月額	想定される被保険者数(概数)
第1段階	・生活保護被保護者 ・世帯全員が町民税非課税の老齢福祉年金受給者 ・世帯全員が町民税非課税かつ本人年金等収入80万円以下	2,502円 (軽減後の金額)	600人
第2段階	・世帯全員が町民税非課税かつ本人年金等収入が80万円を超え120万円以下	4,170円 (平成29年度軽減予定)	210人
第3段階	・世帯全員が町民税非課税かつ本人年金等収入が120万円を超える	4,170円 (平成29年度軽減予定)	170人
第4段階	・本人が町民税非課税(世帯には課税者がいる)かつ本人年金等収入80万円以下	5,004円	1,010人
第5段階(基準)	・本人が町民税非課税(世帯には課税者がいる)かつ本人年金等収入80万円を超える	5,560円	500人
第6段階	・本人が町民税課税かつ合計所得金額が120万円未満	6,672円	400人
第7段階	・本人が町民税課税かつ合計所得金額が120万円以上190万円未満	7,228円	260人
第8段階	・本人が町民税課税かつ合計所得金額が190万円以上290万円未満	8,340円	100人
第9段階	・本人が町民税課税かつ合計所得金額が290万円以上	9,452円	80人

介護保険の財源



小野町高齢福祉サービス推進協議会(佐藤次男会長)の様子

第1号被保険者(65歳以上)保険料の納め方

◆年金の年額が18万円以上の方
年金定期払いの時に天引きされます(特別徴収)。

◆年金の年額が18万円未満の方
町が送る納付書によって個別に収めます(普通徴収。口座振替が便利です)。

第2号被保険者(40歳から64歳までの方)保険料の納め方

加入している医療保険によって異なりますが、国民健康保険税や給与から差し引かれるかたちで納めます。

制度改正

平成27年4月と8月から介護保険制度のさまざまな改正が行われます。詳しくは広報おのまち5月号でお知らせします。

健康福祉課

7216934

問 小野町地域包括支援センター
7212128

米粉活用研修会を開催

現在、米の消費量の減少に伴い、米価が大きく下落し、生産者は厳しい状況となっています。このような現状のまま進むと生産者数や米の作付面積が大幅に減少することが懸念されます。

そこで町では、米の消費拡大対策の一環として、宮城県で米粉の普及・推進活動を行っている有限会社菅原商店の菅原啓子さんを講師に招き、米粉の商品化に係る米粉活用研修会を開きました。

研修会の会場には、町と連携して米粉を活用した商品開発を進めていただいている、福島県立小野高等学校の調理室をお借りし、充実した設備の中で実施することができました。

研修会には、小野高等学校の生徒や小野町食生活改善推進員、商工会加盟店、生産組合ペルサルーテから約30人の方が参加し、主催者である町長のあいさつに続き、会場となった小野高等学校の渡辺校長先生からの歓迎のあいさつをいただきました。

研修会では、米粉の普及、特性に関する講演や製粉方法の違う3種類の米粉を活用し、調理実習が行われました。特に、調理実習では、さまざまなレシピが紹介され、研修用の8種類のレシピの中から4種類の料理を作りました。参加された一人一人が意欲的に取り組んでいました。

町の基幹作物である米の生産を継続的に行えるように、農商工連携した商品化につなげ、米の消費拡大を進めていきます。



1_実習の様子 / 2_菅原啓子さんによる講習 / 3_米粉のらくがん(左)といちご大福

小野町シニアお元気会から 小野町社会福祉協議会へ寄付

小野町シニアお元気会から、年間を通じた各種ゴルフ大会時に参加者会員の皆さんから募った浄財を「町の社会福祉の増進に役立ててください」と会を代表し、会長の佐藤信忠さんから小野町社会福祉協議会にご寄付いただきました。ご厚意に対し厚くお礼申し上げます。



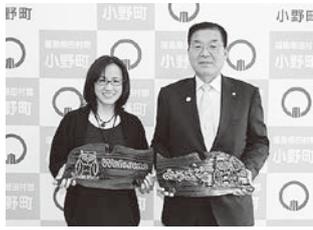
町長に寄付を手渡す
佐藤会長(右)

小野小町ふるさと応援寄付金へ ご寄付ありがとうございます

「小野小町ふるさと応援寄付金」へご協力をいただき、小野町を応援していただいています。

寄付金を納入いただき、広報紙への掲載承諾があった方は次のとおりです。

倉島 秀明 様(埼玉県さいたま市)
吉田千賀子 様(東京都港区)
佐藤 武臣 様(神奈川県相模原市)



土屋貴美子さん(浮金出身・横須賀市在住)から ウェルカムボード寄贈

浮金出身で横須賀市在住の土屋(旧姓吉田)貴美子さんからウェルカムボードを寄贈いただきました。

このウェルカムボードは、土屋さんのボランティア先である養護学校高等部の木工班の授業の中で、知的障がいのある高校生が糸のこを使い、長い時間をかけて一生懸命製作した、心のこもったボードです。土屋さんがふるさとを応援する気持ちを込めてご寄贈くださいました。

いただいたボードは役場に飾り、町民の皆さんの願いを「ウェルカム」の気持ちで受け入れさせていただきます。

このたびの土屋さんのご厚意に対し、厚くお礼申し上げます。

地域おこし協力隊活動記

若者の力で開いた街コン

vol.9



27歳になった古崎です！
イベント開催日はなんと
私の誕生日でした

皆さん、こんにちは、古崎です。小野町の街コン「笑顔コン」が3月8日に開かれました。これは、若者中心のスタッフにより昨年9月から企画されてきたものです。スタッフで参加した当日の様子をレポートします。



初めだけ緊張感が感じられましたが、飲み物や料理が運ばれてくると、楽しそうな話し声で店内はいっぱいになりました。

集まった参加者は男性12人と女性6人。みんなでバスに乗って出発し、1カ所目のイタリアンレストランに到着します。おのおので乾杯や自己紹介などをしてすぐに打ち解けた雰囲気。おいしい料理で話が弾み、大変盛り上がっていました。

再びバスで移動して、2カ所目の古民家の宿でカフェタイムを楽しみます。それぞれ囲炉裏の周りや畳の部屋に腰を下ろし、デザートを食べながらさらに仲を深めていたようです。皆さん笑顔で楽しい時間を過ごしていました。



古民家ではみんなの顔が見えるので、より親密になれたのではないのでしょうか。

企画段階にスタッフが話し合った中で、婚活イベントは参加するには勇気が要するという意見があり、気軽に参加できる内容にまとめようと考えてきました。今回は狙い通り敷居を下げることができましたようです。独身男女が交流する機会を小野町に設けたという点で、このイベントは成功したと感じています。

防災を考える。

東日本大震災から4年が経過した今、あらためて防災について考えてみましょう。

Vol.10

◆土砂災害とは

土砂災害とは、土石流、地滑り、がけ崩れのことをいい、勾配の急な山やがけ、河川のある地域に発生します。

土砂災害の知識とその対策

◎土石流とは？

山腹や川底の石や土砂などが、長雨や集中豪雨などによって、水と共に一気に下流に押し出されるものを土石流といいます。流れの速さは、時速20キロメートルから40キロメートルもあるため、一瞬のうちに大きな被害が出ます。

☆前ぶれ現象に注意！

- 山全体でうなるような音（山鳴り）がする。

- 川の水が急に濁ったり、流木が混じり始める。

- 雨が降り続けているのに、川の水かさが減り始める。



◎地滑りとは？

比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層などの滑りやすい面が、地下水などの影響でゆつくりと動き出すものを地滑りといいます。広範囲に発生するため、住宅や交通路に大きな被害が出ます。

☆前ぶれ現象に注意！

- 地面にひび割れができる。
- 地面の一部が落ち込んだり、盛り上がったたりする。

- がけや斜面から水が吹き出す。
- 井戸や沢の水が濁る。



◎がけ崩れとは？

地中に染み込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震の影響で斜面が崩れ落ち、土砂が斜面下に流出するものをがけ崩れといいます。突然起こるため、人家の近くで発生すると逃げ遅れなどで大きな被害が出ます。

☆前ぶれ現象に注意！

- がけから小石がパラパラと落ちてくる。
- がけに割れ目ができる。
- がけから水が湧いてくる。
- がけから音がする。





郡山地方 広域消防組合から

山林からの出火防止

この時期は空気が乾燥し、ちょっとした不注意で、たき火などから燃え広がってしまう場合があります。

次の事項を確認し、一人一人が、火気の取り扱いに注意しましょう。

◎火災予防のための注意点

- ・たき火をしない。
- ・たばこの投げ捨てはしない。
- ・強風時および乾燥時には、火気の取り扱いに十分注意する。
- ・火気の使用中はその場を離れず、完全に消火する。

☎郡山消防本部予防課

☎024-923-1878

救命講習のご案内

急な病気や事故の時、救命にはその場に居合わせた方々の適切な応急手当が大切です。

消防署では、管内にお住まい、またはお勤めの方を対象に、心肺蘇生法やAEDの使い方などの救命講習を開いています。

大切な人や家族の命を守るため、知識と技術を身に付けましょう。

受講を希望される方は、消防署にお問い合わせください。

開催日時については、郡山地方広域消防組合ウェブサイト(<http://www.shobo.koriyama.fukushima.jp/>)でご覧になれます。

☎郡山消防署救急係

☎024-923-1469

☎田村消防署救急係

☎0247-82-1200

☎町民生活課

☎72-6933

土砂災害の注意点

●最近では、山林や丘陵地の開発により、住宅地などでも土砂災害が増える傾向にあります。日頃から地域ぐるみで危険な箇所など確認しておき、長雨、大雨の降りやすい梅雨や台風の時期は、特に注意しましょう。

●土砂災害は、雨が原因で起こるため、梅雨や台風の時期に多く発生します。特に長雨や大雨により、大量の水分が地中に染み込み、その量が多いほど斜面の土が弱くなり、災害の発生する可能性が高くなります。

●危険な箇所は、斜面が急な所、なだらかな斜面が広範囲にある所、植物があまり生えていない所などです。十分な注意が必要となります。

●大雨警報など気象情報に従って、早めに避難することが大切です。

※速度の速い土石流は、流れを背にしているは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対し、直角に逃げることを覚えておきましょう。

いざという時のために

～こまち女性消防隊 普通救命講習受講～

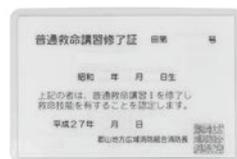
こまち女性消防隊では、2月8日から3回にわたり49人が普通救命講習を受講しました。

田村消防署小野分署の救急救命士が中心となって講師となり、3時間の講習で①心肺蘇生法②AEDの使用法③止血法④異物除去法を学びました。

心肺蘇生やAEDなどの応急手当は、経験がなければ、いきなりその場で実践することはできません。身近にいる大切な人の命を守るための講習に、受講した隊員は真剣に取り組んでいました。



講習の様子



修了証



◎平成 26 年度・多く読まれた本をご紹介

昨年度、図書館で人気の高かった本ベスト10を分野ごとにご紹介します。まだ読まれていない方、ぜひお手にとってみてはいかがでしょうか？

◆児童書

順位	書名	著者	出版社
1	一期一会	チーム151E	学習研究社
2	ミッケ！ファンタジー	ウォルター・ウィック	小学館
3	進化の迷路	香川 元太郎	PHP研究所
4	リトルプリンセス	ケイティ・チェイス	ポプラ社
5	真夜中の学校レストラン	怪談レストラン編集委員会	童心社
6	黒魔女さんが通る！！	石崎 洋司	講談社
7	どんぐりむらのぼうしやさん	なかや みわ	学研
8	昆虫(小学館の図鑑NEO)	小池 啓一	小学館
9	捨て犬・未来と子犬のマーチ	今西 乃子	岩崎書店
10	探偵チームKZ事件ノート	藤本 ひとみ	講談社

「一期一会」シリーズは、小学生女子を中心に根強い人気があります。また「ミッケ！」シリーズや「怪談レストラン」シリーズは、性別を問わず子供たちに人気が高い傾向が数年続いています。

その中で、平成26年度は特に香川元太郎・作の「迷路」シリーズに人気集中しました。

学習にも役立つ内容が精密な絵で盛り込まれた迷路で、小学生男子を中心に読まれました。

◆DVD・CD

順位	タイトル	出演	出版社
1	崖の上のポニョ(DVD)	山口 智子ほか/声の出演	ウォルト・ディズニー・スタジオ・ホーム・エンターテイメント
2	ウルトラマンAのすべて(DVD)		バンダイビジュアル
3	ウルトラマンマックス 怪獣大図鑑(DVD)		バンダイビジュアル
4	快眠生活(CD)	志賀 一雄/監修	キングレコード
5	武士の家計簿(DVD)	堺 雅人ほか/出演	アスマック
6	目が疲れた時に聴く音楽(CD)	志賀 一雄/監修	キングレコード
7	ピーターパン(DVD)		KOALA BOOKS
8	未来少年コナン(DVD)	小原 乃梨子ほか/声の出演	バンダイビジュアル
9	ラジオ深夜便(CD)	帯津 良一ほか/出演	NHKサービスセンター
10	プラネットダイナソー(DVD)	ナイジェル・パターソン/監修	BBCワールドワイド

子供たちにはウルトラマンのDVDなどが人気でした。

大人では「ラジオ深夜便」のCDを借りる方が多くいらっしゃいました。

◆一般書(文芸書)

順位	書名	著者	出版社
1	村上海賊の娘(上・下)	和田 竜	新潮社
2	夢幻花	東野 圭吾	PHP研究所
3	廉恥	今野 敏	幻冬舎
4	泣き童子	宮部 みゆき	文藝春秋
5	明治・妖モダン	畠中 恵	朝日新聞出版社
6	決戦	上田 秀人	講談社
7	弓張ノ月	佐伯 泰英	双葉社
8	果つる底なき	池井戸 潤	講談社
9	豆の上で眠る	湊 かなえ	新潮社
10	海賊と呼ばれた男(上・下)	百田 尚樹	講談社

東野圭吾、宮部みゆき、今野敏ら人気の作家がランクインしました。

また時代小説の人気は根強く、上田秀人の著書の貸し出しが増えました。10位には入りませんが、テレビドラマの影響か、村岡花子のエッセイの貸し出しも多くあった年でした。

◆一般書(実用書・郷土資料)

順位	書名	著者	出版社
1	藤田智の野菜づくり大全	藤田 智	NHK出版
2	1年中楽しめるゼラニウム160種	長岡 求	成美堂出版
3	農の庭おもしろ百科	根本 幸夫	万来社
4	キラキラ アイドル リカちゃん	島田 浩志	小学館
5	決定版 炊飯器でカンタンお菓子ふっくらパン		学研パブリッシング
6	おいしい! はやい! 圧力鍋おかず	食のスタジオ	成美堂出版
7	エクスプレス ブラジル・ポルトガル語	黒沢 直俊	白水社
8	小野町のむかしばなし	小野町	小野町
9	リカ ワールドツアー	香山 リカ	小学館
10	猟師の肉は腐らない	小泉 武夫	

実生活に即した農業、園芸、料理の本が人気の高い傾向です。

また郷土に関するものでは「小野町のむかしばなし」が一番多く貸し出しがありました。

このほか、郷土ゆかりのリカちゃん関連書、小泉武夫先生の著作も多く読まれました。

◎「子ども読書の日」「こどもの読書週間」のご案内

4月23日は「子ども読書の日」です。また4月23日から5月12日までは「こどもの読書週間」です。図書館ではこの期間に合わせて、おすすめ本のコーナーを設置します。親子で読書を楽しむ機会にはいかがですか。ぜひ図書館にお越しください。



ふるさと文化の館

☎ 72-2120

1年生 ライフプラン発表会

ライフプラン発表会が3月4日に行われました。1年生が「産業社会と人間」の授業を通して取り組んできた活動のまとめとして、1年生各クラスの代表者9人が将来の夢ややりたい職業などについて発表しました。

またユニクロ郡山日和田フェスタ店長吉田圭佑さんの講演会も実施されました。前半は吉田さんのこれまでの人生について講演があり、後半は店員の方2人と4月から勤務することになった本校の卒業生2人を交えたパネルディスカッションが行われました。在校生からも「今後の取り組みや計画について教えてほしい」「海外の高校生と日本の高校生の違いは何か」「震災後の復興に会社としてどのように関わっていくか」など、多くの質問が投げ掛けられ、大変熱のこもった充実した講演会となりました。



合格発表 「夢」をカタチに

合格発表が3月16日に本校正面玄関前で行われました。

受験生の皆さん、合格おめでとうございます。小野高校で自分の「夢」が達成できるように、勉強、部活動に励んでください。



実習授業 サイネリアを栽培

産業技術系列の実習授業で「サイネリア」を栽培しました。秋まきの1年草で、日光を好む花なので、室内のよく日が当たる場所に置いて管理します。

販売実習の授業では、小野町内で販売しました。



事務長の
プチコラム

- 小野高校の事務室にあるものは
- 生徒が大切に育てた「サイネリア」
 - 大量の文書や書類
 - そして・・・



君の夢をカタチに！！
福島県立小野高等学校

福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後63
☎0247-72-3171 FAX 0247-72-6211
<http://www.ono-h.fks.ed.jp>



犬を飼っている皆さんへ

狂犬病予防接種

生後91日以上の子犬を対象とした狂犬病の集合予防接種を町内各所で実施します。

接種できなかった場合は、動物病院などで接種することになりますので、この機会に必ず済ませてください。

◆実施月日

4月25日(土)、5月2日(土)、3日(日)

◆場所 町内各所(日程表のとおり)

◆注射料金 1頭につき 3,200円

狂犬病について

昭和31年を最後に日本国内での狂犬病の発生はありませんが、海外ではいまだに多くの国で確認され、たくさんの方が命を落としています。

狂犬病に感染した犬にかまれると、2カ月から1年の潜伏期間を経て発症し、5日から2週間ほどで死亡します。狂犬病は潜伏期間中であれば治療できますが、発症後の治療方法はないとされている大変恐ろしい病気です。

1年に1回は必ず狂犬病予防注射を受けましょう。

飼い犬の登録も忘れずに！

飼い犬への通知は畜犬台帳に基づき発送しています。犬を飼い始めた場合はすぐに登録しましょう。

また犬が死亡した場合や他人に譲った場合、飼い主が転居した場合は忘れずに町民生活課まで届け出てください。

◆登録料金 1頭につき 3,000円

※死亡や登録内容の変更届けの際は料金はかかりません。

狂犬病予防注射日程表

日程	行政区	場所	時間
4月25日(土)	小野赤沼	小野赤沼集会所	9:00~9:20
	菖蒲谷、雁股田	雁股田集会所	9:30~10:05
	塩庭一区	塩庭多目的集会施設	10:15~10:30
	上羽出庭、和名田	旧夏井第二小学校	10:40~11:20
	塩庭二区	塩庭二区集会所	11:30~11:40
	湯沢	湯沢体験農園管理施設	13:00~13:15
	夏井、南田原井	夏井多目的集会施設	13:25~14:15
5月2日(土)	飯豊上	飯豊ひまわり保育園駐車場	9:00~9:20
	浮金	浮金集落センター	9:30~10:10
	吉野辺	吉野辺集落センター	10:20~10:50
	飯豊中	新田内集会所	11:00~11:10
	飯豊下	飯豊下多目的集会施設	11:20~11:30
	小戸神	大名内集会所	11:40~11:50
	小野山神	小野山神公民館	13:00~13:20
5月3日(日)	皮籠石	皮籠石集会所	13:30~13:50
	谷津作	谷津作地区研修センター	9:00~9:50
	荒町、中通、平舘	小野町商工会	10:00~10:50
	本町、横町、仲町、大八、反町	役場	11:00~12:30

犬の放し飼いはやめましょう

犬はきちんとつないで飼いましょう。またリードにつながずに散歩するのもやめましょう。

犬が放されていると、飼い主が大丈夫と思っていても他人に恐怖や危害を与えたり、交通事故に遭ったりする恐れがあります。十分な心配りをし、マナーを守って飼いましょう。

ねこは屋内で飼いましょう

放し飼いのねこは、交通事故に遭ったり、よその家を汚したり、鳴き声で迷惑をかけたりします。犬やねこも家族の一員です。最後まで愛情と責任をもって飼いましょう。

また名札などを付けて飼い主が分かるようにしておきましょう。

町民生活課 ☎72-6933





ご案内

国民健康保険からのお知らせ

資格喪失後の受診による医療費の返還について

4月は加入している健康保険の異動が多い時期です。健康保険証を使用するときは、次のことに注意してください。

社会保険などへの加入や転出により小野町の国民健康保険の資格がなくなつた(喪失した)にもかかわらず、小野町の国民健康保険証を使用して医療機関などを受診した場合、その医療費を返還していただくこととなります。

これは、小野町の国民健

康保険証で受診したことにより、本来受診日当日加入していた健康保険が負担すべき医療費(受診者の窓口負担分を除いた額)を小野町の国民健康保険が支払つた(一時的に立て替えた)ため、その医療費を返還していただくものです。

返還した医療費は、受診日当日に加入していた健康保険に「療養費」として申請していただくことができます。

◆具体的にはどんなとき？

○就職して社会保険や共済組合、健康保険組合などに加入したが、保険証の交付に時間がかつたため、その間に国民健康保険証を使用してしまったとき。

○転出先の市区町村から新しい国民健康保険証の交付を受ける前に、小野町の国民健康保険証を使用してしまったとき。

○すでに社会保険などに加入したり、転出したりしているにもかかわらず、

その届け出が遅れ、返却前の国民健康保険証を使用してしまったとき。

◆返還方法は？

○該当となった方には「返還通知書」と「納入通知書」をお送りしますので、指定期日までに返還金を納入してください。

○小野町と医療機関との間で調整ができた場合は、個人から返還していただく必要はありませんので、「返還通知書」と「納入通知書」はお送りしません。

◆療養費の申請方法は？

○医療費を返還した後に、受診日当日加入していた健康保険に「療養費」として申請することができます。加入していた健康保険により申請方法は異なりますので、必要な書類については該当する健康保険へお問い合わせください。

○「療養費」の申請には「返還金の領収書」が必ず必要となります。領収書の再発行はできませんの

で、大切に保管してください。

◆その他

○新しい保険証が交付される前に医療機関などを受診するときは、医療機関などの窓口で必ずその旨を申し出てください。基本的には、いったん全額自費(10割負担)でお支払いただくこととなりますが、窓口の指示に従ってお支払いただきます。

○新しい保険証が交付されたときは、速やかに役場に届け出を行い、国民健康保険証は必ず返却してください。

○誤って保険証を使用してしまったときは、医療機関または町民生活課に速やかにご相談ください。

◎医療費の適正化に、ご理解・ご協力をお願いいたします。

町民生活課
7216933

相談

県では多重債務問題や契約トラブルなどさまざまな消費生活相談に対応するため、法律の専門家による相談を予定しています。

◆相談日

5月12日(火)
(次回7月14日(火))

◆会場

郡山市労働福祉会館(郡山市虎丸町7-7)

◆相談時間

午後1時15分から午後4時45分まで(一人当たり30分)

相談には事前の予約が必要です。会場で行うほか電話でも相談することができます。

事前予約および詳細については、お問い合わせください。

◎福島県中地方振興局県民環境部県民生活課
024193511295

国民年金コーナー

こんなときは忘れずに届け出を

国民年金は日本国内に住所がある20歳以上60歳未満のすべての方が加入する制度です。

届け出を忘れると、将来受け取る年金額が少なくなったり、受けられなくなったりする場合があります。

届け出が必要なときには、必要な書類をあらかじめ確認の上、14日以内に忘れずに手続きをしてください。

☎ 郡山年金事務所

☎ 024-932-3434

☎ 町民生活課

☎ 72-6933

こんなとき		必要なもの・提出するもの
第1号 被保険者	20歳になったとき (厚生年金、共済組合の加入者は除く)	国民年金資格取得届 (日本年金機構から送付されます)、印鑑
	厚生年金、共済組合に加入したとき	勤務先にお問い合わせください
	厚生年金、共済組合に加入している配偶者の扶養になったとき	配偶者の勤務先にお問い合わせください
	住所・氏名が変わったとき	年金手帳、印鑑
第2号 被保険者	年金手帳をなくしたとき	身分証明書、印鑑
	退職して厚生年金、共済組合の加入をやめたとき	年金手帳、退職した日が分かる証明書、印鑑
第3号 被保険者	厚生年金、共済組合に加入している配偶者の扶養から外れたとき	年金手帳、扶養から外れた日が分かる証明書、印鑑
年金 受給者	誕生月がきたとき	年金受給権者現況届
	住所が変わったとき	年金受給権者住所変更届
	氏名が変わったとき	年金受給権者氏名変更届
	年金の受取先を変えるとき	年金受給権者支払機関変更届
	亡くなったとき	年金受給権者死亡届
	年金証書をなくしたとき	年金証書再交付申請書

※住民票コードが日本年金機構に登録されている場合には、現況届や住所変更届の提出は不要となります。

❖ 公立小野町地方総合病院からのお知らせ

当院では、新病院開院に合わせてMRI装置(磁気共鳴画像診断装置)を導入しましたので、ご紹介します。



導入されたMRI

MRI装置は、強力な磁石でできた筒の中に入り、磁気の利用して体の臓器、血管を撮影する装置です。放射線を使用しないので被ばくの心配がなく、この装置の導入により脊椎、脊髄(椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症など)、関節や靭帯の検査も可能です。また頭部検査においてもMRI装置の得意分野であり、X線、CTよりも多量の情報が得られます。そして、もう一つの利点としてMRIでは、造影剤(バリウム)を使わずに血管を撮影することができます。そのため、より少ない負担、リスクで検査を受けていただくことができます。

☎ 公立小野町地方総合病院 総務課 ☎ 72-3181

除染推進室だより

【除染】小野新町・飯豊地区の除染作業が完了しました

昨年5月から開始した小野新町・飯豊地区の除染作業が平成27年2月27日をもって完了しました。

公共施設や町道、同意の得られた住宅などの生活圏について空間線量率の事前測定を行い、その結果、国で定める基準値（毎時0.23マイクロシーベルト）以上を示した箇所について除染作業を行いました。

作業終了後、除染実施箇所について事後測定を行った結果、すべての測定点において空間線量が基準値を下回り、除染作業による線量低減効果がみられました。

これにより、平成25年度に実施した夏井地区の除染作業と合わせて、小野町内における生活圏すべての除染作業が完了となりました。

引き続き町内の空間線量率を監視していきますので、ご理解、ご協力のほどよろしく申し上げます。

なお小野新町・飯豊地区除染作業の結果については表1・2のとおりです。

表1. 除染の効果

地区	区分	件数	最大測定値の平均	除染後測定値の平均	低減効果	除染後基準値超
小野新町	住宅・事業所	5カ所	0.32 μ Sv/h	0.14 μ Sv/h	56.3%低減	無
	公共施設	2施設	0.28 μ Sv/h	0.10 μ Sv/h	64.3%低減	無
飯豊	住宅・事業所	11カ所	0.30 μ Sv/h	0.15 μ Sv/h	50.0%低減	無
	公共施設	1施設	0.43 μ Sv/h	0.10 μ Sv/h	76.7%低減	無
	道路	3施設	0.29 μ Sv/h	0.14 μ Sv/h	51.7%低減	無

※ μ Sv/h：マイクロシーベルト/時

表2. 除去土壌等の数

地区	区分	フレキシブルコンテナ数			備考
		可燃物	不燃物	合計	
小野新町	住宅・事業所	3袋	3袋	6袋	現場保管
	公共施設	1袋	2袋	3袋	現場保管
	除染実施計画策定前実施分	1袋	210袋	※211袋	現場保管
	合計	5袋	215袋	220袋	
飯豊	住宅・事業所	28袋	14袋	42袋	飯豊地区仮置場に搬出済み
	公共施設	—	6袋	6袋	飯豊地区仮置場に搬出済み
	道路	—	4袋	4袋	飯豊地区仮置場に搬出済み
	除染実施計画策定前実施分	11袋	190袋	201袋	飯豊地区仮置場に搬出済み
	合計	39袋	214袋	253袋	
総計		44袋	429袋	473袋	

※小野新町地区の除染実施計画策定前実施分は見込み数です。

【仮置場】小野新町地区の仮置場は8月末の完了を目指して工事を進めています

小野新町地区の「仮置場」について鋭意工事を進めているところですが、「仮置場」および「仮置場進入路」の一部計画見直しのため、最終的な完成は8月末頃となる見込みです。

なお小野新町地区の除染作業によって生じた除去土壌など(220袋程度の見込み)は小野新町地区の「仮置場」が完成し次第搬入します。以降は、可燃物、不燃物に分けて配置し、放射線遮へいのための覆土および遮水シートによる遮水を行い、周囲に立ち入り防止柵を設置した上で仮置場での保管を開始します。

長期にわたる工事により、皆さんには多大なるご不便、ご迷惑をお掛けしていますが、ご理解、ご協力のほどよろしく申し上げます。

除染推進室だより

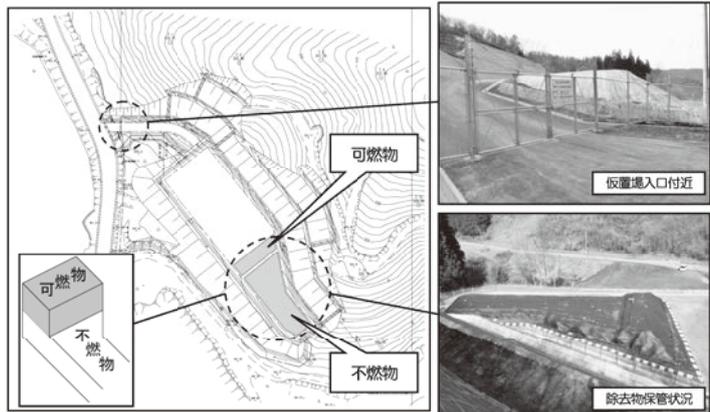
【仮置場】飯豊地区の仮置場が完成しました

平成27年3月6日をもって、小野山神地内において造成工事を進めていた飯豊地区の「仮置場」が完成しました。

この「仮置場」には平成26年度に実施した飯豊地区の除染作業によって発生した土壌や草木など(以下「除去土壌など」といいます)を、国の規格に合致するフレキシブルコンテナに封入し、保管しています。

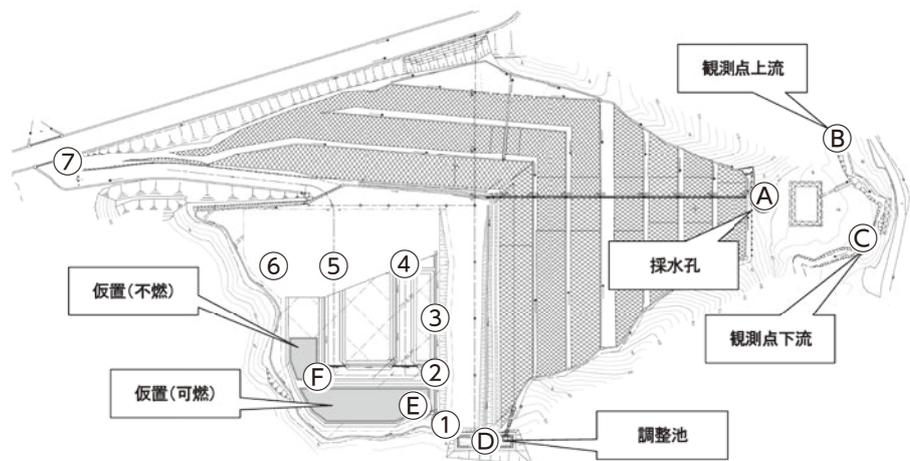
一般住宅、事業所、公共施設および道路などの除染作業によって生じた除去土壌など(全体で253袋)は可燃物、不燃物に分けて配置し、放射線遮へいのための覆土および遮水シートによる遮水を行い、周囲に立ち入り防止柵を設置した上で保管しています。

今後も引き続き空間線量率の監視(週一度)および地下水、流末水路表流水の放射能汚染監視(月一度)などの監視業務を行い安全に管理していきますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。



【仮置場】夏井地区仮置場の監視状況について、お知らせします

空間線量率の監視(週一度)および地下水、流末水路表流水、浸出水の放射能汚染の監視(月一度)を行っています。その結果、周辺環境への影響はありません。



■放射線空間線量率記録ならびに地下水、流末水路表流水、浸出水放射能濃度分析記録経過

測定		放射線空間線量率(μSv/h) ※100cm高・5回測定平均値							採取	放射性セシウム	水放射能濃度分析(Bq/l)						
		仮置場敷地内									敷地外		地下水	水路表流水		調整池	浸出水
月	日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	月	日	A	B	C	D	E	F	
2	2(月)	0.11	0.11	0.12	0.12	0.10	0.13	0.14	2	10(火)	Cs134	検出せず (1Bq/l未満)				浸出水なし	
	10(火)	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10	0.13	0.13				検出せず (1Bq/l未満)				浸出水なし	
	16(月)	0.12	0.12	0.11	0.12	0.11	0.13	0.13			検出せず (1Bq/l未満)				浸出水なし		
	23(月)	0.12	0.12	0.12	0.13	0.11	0.14	0.14			検出せず (1Bq/l未満)				浸出水なし		

【参考：飲料水基準値 10Bq/kg】

町民生活課 ☎72-6933

＋休日当番医・院外薬局

月	日	当番医	薬局
4	5(日)	中央通りクリニックやない (田村市船引町) ☎81-2662	コスモ調剤薬局中央通り店 (田村市船引町) ☎81-1610
	12(日)	かみや内科クリニック (小野町) ☎72-3212	さとう薬局 (田村市常葉町) ☎77-2018
	19(日)	大久保クリニック (田村市船引町) ☎82-2555	
	26(日)	矢吹医院 (三春町) ☎62-3015	ふくだや薬局 (田村市船引町) ☎86-2013
	29(祝)	青山医院 (田村市常葉町) ☎77-2015	タカギ薬局 (田村市常葉町) ☎77-4381
5	3(日)	石塚医院 (小野町) ☎72-2161	ヤナイ調剤薬局 (小野町) ☎72-5912
	4(月)	大方病院 (田村市船引町) ☎82-1117	
	5(火)	西山医院 (三春町) ☎62-2473	ふくだや薬局 (田村市船引町) ☎86-2013
	6(水)	奥秋医院 (田村市船引町) ☎86-2034	
	10(日)	橋本医院 (小野町) ☎72-3711	コスモ調剤薬局小野新町店 (小野町) ☎71-0305



*電話確認の上、受診してください。
詳しくは「福島県総合医療情報システム」をご覧ください。
バーコード認識機能で、携帯電話から「福島県総合医療情報システム」をご覧いただけます。

＋田村地方夜間診療所

田村市船引町船引字源次郎 福祉の森公園地内
☎81-2233

◆受付時間

月～金 19:00～21:30

※土・日・祝、お盆、年末年始は休診

◆診療内容

内科、小児科疾患の一次救急です。風邪やウイルス性胃腸炎、家庭では対処できない切り傷といった傷病が適応です。

※入院や手術を必要とする二次救急疾患、生命に危険が及ぶような三次疾患には対応していません。

♥こども救急電話相談

毎日、19:00～翌8:00

☎024-521-3790

詳しい情報は、「こどもの救急についてのウェブサイト」をご覧ください。

■あそびの広場

平成27年度の「あそびの広場」は、5月から小野わかば幼稚園で実施します。

◆日時 毎週水曜日 9:30～11:30

●子育て支援センター(小野わかば幼稚園)

☎72-2629

■親子の教室

月	日	内容	時間	場所
4	23(木)	親子ふれあい教室	受付10:00～10:15 実施10:15～12:00	母子健康センター
	27(月)	ママのリフレッシュ教室		
	28(火)	育児教室		
5	7(木)	親子ふれあい教室 (ベビーマッサージ教室 合同)		

※親子ふれあい教室…旧キッズ・クラブ

●健康福祉課 ☎72-6934

■乳幼児健診

月	日	内容	時間	場所
4	22(水)	1歳6カ月児健診	受付13:00～13:30	母子健康センター

●健康福祉課 ☎72-6934

■健康づくり

月	日	内容	時間	場所
4	16(木)	こころの相談室	13:00～15:00	母子健康センター
	23(木)	夜間ヘルスアップ運動教室	19:00～20:30	町民体育館
	24(金)	ヘルスアップ運動教室	13:30～15:30	多目的研修集会施設
	30(木)	精神保健デイケア	10:00～14:00	多目的研修集会施設
5		夜間ヘルスアップ運動教室	19:00～20:30	町民体育館
	8(金)	ヘルスアップ運動教室	13:30～15:30	多目的研修集会施設
	11(月)	健康相談日	9:00～15:00	母子健康センター
	14(木)	精神保健デイケア	10:00～14:00	多目的研修集会施設
		夜間ヘルスアップ運動教室	19:00～20:30	町民体育館

●健康福祉課 ☎72-6934

❖お誕生おめでとう❖

氏名 父・母 行政区
 助川虎汰郎 (こたろう) 克也・望 谷津作
 吉田悠之助 (ゆうのすけ) 裕之・早妃子 谷津作
 村上心美 (ここみ) 正幸・ゆかり 小野赤沼
 佐藤羽太 (うた) 俊太・絵美 飯豊上
 宗像さくら 芳宏・春美 南田原井
 (2月届出分)

❖おくやみ申し上げます❖

氏名 年齢 行政区
 関根一雄 65 飯豊下
 吉田忠則 86 夏井
 (1月届出分)
 矢吹元孝 65 本町
 小比田ヤイ子 79 仲町
 壁谷操 100 反町
 古内孝 76 反町
 細山金男 88 反町
 大樂敬四郎 82 大八
 村上亢良 86 小野赤沼
 薄井美一 48 皮籠石
 (2月届出分)

※この欄は、届出の際に同意を得た方を記載しています。

■町の人口・世帯数()内は前月比
 平成27年3月1日現在

人口	男	5,038人(+2人)
	女	5,329人(△10人)
	計	10,367人(△8人)
世帯数		3,486世帯(+3世帯)

福島県現住人口調査結果から

食品などの放射能測定結果

町で実施している簡易検査およびゲルマニウム半導体放射能測定器による検査結果をお知らせします。

【簡易測定器による測定結果】

◆基準値を超えたものの内訳

月	検体数	検体名	測定結果(Bq/kg)
2	0	-	-

※測定結果の数字はCs134およびCs137の合計値です。

◆基準値未満または検出限界値以下のもの

月	検体数	検体名
2	0	-

※食品以外の検体については、結果に含まれていません。

【ゲルマニウム半導体放射能測定器による測定結果】

◆基準値を超えたものの内訳

月	検体数	検体名	測定結果(Bq/kg)
2	0	-	-

※測定結果の数字はCs134およびCs137の合計値です。

◆基準値未満または検出限界値以下のもの

月	検体数	検体名
2	19	水道水
	11	井戸水、引き水
	1	切り干し大根

※食品以外の検体については、結果に含まれていません。

◎食品中の放射性物質(セシウム)の基準値

飲料水…………… 10Bq/kg
 牛乳・乳幼児食品… 50Bq/kg
 一般食品…………… 100Bq/kg

※平成24年4月から新しい基準値が設定されました。

健康福祉課 ☎72-6934

上水道水質検査結果

2月に実施した水道水の水質検査の結果は、次のとおりです。

試験項目	水質基準	試験結果
一般細菌	100CFU/mℓ以下	0CFU/mℓ
大腸菌	検出されないこと	検出せず
塩化物イオン	200mg/ℓ以下	16.4mg/ℓ
有機物(TOC)	3mg/ℓ以下	0.7mg/ℓ
PH値	5.8~8.6	7.2
味	異常でないこと	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし
色度	5度以下	1度
濁度	2度以下	0.1度

地域整備課 ☎72-6936



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。

福が満開、福のしま。

ふくしま デスティネーション キャンペーン (ふくしまDC) 関連イベント開催中!

4月1日から開催している「ふくしまDC」の関連イベントが福島県内で行われています。

広報おのまち2月号でお知らせしました「プレゼント&クーポンキャンペーン」のほか、スタンプ3個以上集めて応募し抽選で賞品があたる「キビタンフラスタンプラリー」、県内30のエリアで宝箱を探す「コードF-5」が始まりました。

イベントに参加するための冊子などは役場窓口にありますので、皆さんもぜひご参加ください。



プレゼント&クーポン
キャンペーン
(12月31日※まで)



キビタンフラスタンプラリー
(6月30日※まで)



リアル宝探しイベント
コードF-5
(9月27日※まで)

詳しくは、ふくしまDCウェブサイト (<http://dc-fukushima.jp/>) をご覧ください。

ふくしまDC で検索

